



増補 英米故事伝説辞典

井上義昌 編

A5判 一〇七六頁 定価四五〇〇円

英米国民性の反映たる英・米語及び英文学の背景となっている文化百般の知識を、辞典形式により集大成した豪華本。各項目の解説は平易な文章で記され、必要に応じて英文・和文による参考文例を多く取り入れ、また注解も付し、読み物として興味深い。項目の末尾には参考・引用文献をも示し、学生・専門家・読書人必携の辞典。

〈内容〉故事伝説、神話、英詩・歌謡・童謡、童話・物語、語源、宗教・風俗習慣、名言・名句、格言、歴史上の事件、他

英米文学植物民俗誌

加藤憲市 著

英米文学上、なじみ深い草木二九種について、歴史、伝説、習俗、迷信、薬効、語原、諺、成句、象徴、花ことば等を詳説し、事典形式で編集。A5判 七三三頁 定価四五〇〇円

新訂 双解英和辞典

斎藤 静 編

岡倉賞を受く。英和辞典・英英辞典をかねた画期的辞典。語句の意味を正確にするため訳は英和双解であり、本書の最大特徴となっている。B40型二〇五二頁 定価三八〇〇円

富山房百科文庫

新書判

詩人の手紙

ジョン・キーツ / 田村英之助訳

七〇〇円

喜びのおとずれ

C・S・ルイス / 早乙女忠中村邦生訳

六五〇円

ルネサンス

ウォルター・ペイター / 別宮貞徳訳

七〇〇円

名士小伝

ジョン・オーブリー / 橋口稔・小池鈺訳

七五〇円

詩学入門

エズラ・パウンド / 沢崎順之助訳

九五〇円

グイクトリア女王

リットン・ストレイチイ / 小川和夫訳

九八〇円

フォークナー全集

全28巻

既刊21点 各巻二〇〇〇円〜三〇〇〇円

- ② 兵士の報酬 ④ サートルリス ⑤ 響きと怒り
- ⑥ 死の床に横たわりて ⑧ これら十三篇
- ⑨ 八月の光 ⑩ 医師マーティーン、他
- ⑪ 標識塔 ⑫ アブサロム、アブサロム、
- ⑬ 征服されざる人びと ⑭ 野性の棕櫚
- ⑮ 村 ⑯ 行け、モーセ ⑰ 墓地への侵入者
- ⑱ 駒さばき ⑲ 尼僧への鎮魂歌 ⑳ 町 ㉑ 館
- ㉒ 自動車泥棒 ㉓ 短篇集(1) ㉔ 短篇集(2)

富山房

協会誌再発刊にあたって

創立以来八年、日本ワイルド協会は順調な歩みを続けてまいりました。テーマによる研究中心の夏期セミナー、特別講師を迎えての秋期公開講演会の二輪の車によって、稔りある軌跡を残してまいりました。ここにもう一步、協会は新たな段階に踏み入ろうといたしております。

昨年十月一日の理事会及び総会で、新会員が選出され、いくつかの機能が検当されてサビを落とし、油を入れることになりました。その一つが、この「ワイルドニューズレター」の発刊です。これ迄にも「ワイルド会報」「協会五年の歩み」等のパンフレットが間歇的に出ておりましたが、これ等は一部の方の御苦勞の賜であり、またその歯車もしばらくは廻りを休めておりました。

ここに新たに若い油がそそがれまして、希望ある活発な動きとなり、再び協会誌が発刊の運びとなりましたことは、まことに慶ばしいことと存じております。今後この協会誌が、全国の会員の方々の意見交換や発表の舞台となり、また楽しい「モノログ・ダイアログ」のおしゃべりの場となりますことを、心から切に祈っております。

第一代会長西村孝次先生、第二代小倉多加志先生の後塵を受け、第三代を勤めることとなりましたが、「女王の時代は国が栄える」というイギリスのジンクスが、果して日本の協会にも通用するかどうか、微力を心もとなく思いますが、皆様の御協力をお願いいたし、任期を勤めてまいりたいとの所存でございます。しかし、あまりに堅固なモラル社会を樹てましたために、ワイルドをはみ出させて潰してしまったヴィクトリア女王のひそみには習わぬよう、注意してまいりたいと思っております。

「日本ワイルド協会 Oscar Wilde Society of Japan」のプレートが明星大学の研究室に掲げられましたが、これは世界に唯一のワイルド・センターです。ニューズレター編集もここで行われたわけですが、約二百冊ほどワイルド関係の本を備えておりますので、御利用に、またお話しにお越し下さい。更に、皆様のお書きになったワイルドの御著書・論文・随筆・書評などを是非お送りいただき、ここに保管して相互の利用を計り、将来は書誌作成に供したいとの企画がございますので、御協力をお願い申し上げます。一九七九年に出ましたE・H・ミカエル編「ワイルド書誌」の日本の部門には、わずかに十編の論文名が掲載されただけですが、こうした外国の研究機関への正確な情報提供も、ここから可能になることと思っております。

われわれはいま二十世紀に暮しております。現代日本社会の各面には、美をそれ自身のために作りだしたり追い求めたり、無用の中に価値を見つけようというような、いわば〈あそび〉を大人の感覚で味わえる余裕が見えており、ワイルドの面白さを味解できる素地が出来てきているようです。一世紀を閉じる環の軌道は前世紀とは同じ次元で合わないかも知れませんが、少なくとも同じ世紀末を生きたワイルドをいまの日本で考えることは、意義のある興味ぶかい仕事であると思えます。ヴィクトリア朝モラルからの批判といった偏見のない日本の風土から、ワイルドにたいする新しい見方、日本独自の解釈による興味ある研究成果が生まれてくることを期待しております。 (第三代会長 井村 君江)

目 次

協会誌再発刊にあたって	
日本ワイルド協会八年の歩み	日本ワイルド協会編 12
ワイルド研究のおもしろさ	井村君江 2
『ワイルド全集』を訳して	西村孝次 4
<i>The Happy Prince</i> について	千葉 剛 5
『サロメ』を読む	荒井良雄 8
モノログ & ダイアログ	10
イギリスからのモノログ	
日本の舞台からのモノログ	
結婚式からのモノログ	
協会規約	
協会会員名簿	16
編集後記	20

日本ワイルド協会規約

- 第1条(名称) 本会は、「日本ワイルド協会」と称する。
- 第2条(目的) 本会は、19世紀末の英国の作家、オスカー・ワイルドに関する理解と研究を深めることを目的とする。
- 第3条(事業) 本会は、この目的を達成するため、研究セミナー(夏期)、総会及び講演、研究発表(秋期)を開催するほか、研究雑誌、会報等出版をおこなう。
- 第4条(会員) 本会の会員は、研究活動に積極的に参加し、これを援助する。会費は年額5000円を納入するものとする。
- 第5条(役員) 本会には、顧問、会長、副会長、理事、評議員を置く。任期は3年とし、留任をさまたげない。
- 第6条(会計) 本会の経理は、会費その他の収入をあて、決算報告は総会の承認を得るものとする。
- 第7条(本部) 本会の事務所は、明星大学英語英米文学科井村研究室(日野市程久保337)に置く。
- 第8条(変更) 本規約の変更は、会員の承認を得るものとする。

付則 本規則は、昭和58年10月に改訂、11月より施行する。